

令和 8 年 2 月 月例記者会見(令和 8 年 2 月 13 日)

市長原稿(議案)

はじめに、2 月 20 日開会の裾野市議会 2 月定例会に提出いたします議案につきまして、ご説明申し上げます。資料1からご覧ください。

まず、令和 8 年度当初予算案についてです。

令和 8 年度一般会計当初予算総額は、「●●予算」(市長キーワード)として、当初予算編成としては、3年連続での「過去最大」の予算となります。

総額 245 億 5,100 万円、前年度当初予算と比べて 8 億 5,900 万円、3.6%の増です。

私は、財政非常事態宣言を解除する際に、「裾野市行財政運営基本方針」を策定し、市民の皆様には財政健全化と将来投資の両立を図ることをお約束しました。

これまでと同様に、安定的な財政運営の指標は堅持しつつ、市民目線に立った事業の内容・効果の検証や合理化・効率化を行った上で、行政サービスへの投資を継続していけるよう予算編成を行いました。

特別会計は総額 113 億 9,305 万円で、前年度当初予算と比べて 3 億 8,135 万 7,000 円、3.5%の増となります。

事業会計は総額27億 8,741 万 8,000 円で、前年度当初予算と比べて2億 5,362 万円、10.0%の増となります。

一般会計、特別会計及び事業会計を合わせた総予算額は 387 億 3,146 万

8,000 円となり、前年度当初予算と比べて 14 億 9,397 万 7,000 円、
4.0%の増となりました。

次に、令和 8 年度の一般会計歳入見込、財源配分につきましてご説明申し上げます。

歳入では、引き続き普通交付税の交付団体を見込むものの、令和 7 年度の税収見込みから普通交付税は大幅に減少する予定です。

個人市民税や固定資産税の増額を見込み、市税の総額は 108 億 1,364 万円を見込みます。

国庫支出金では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、土地区画整理事業費などの減少にともない減額、市債は事業債の増により増額となります。

歳出では、令和7年度人事院勧告による伴う人件費、生活保護費、自立支援給付費などの扶助費の増額、放課後児童健全育成事業、予防事業費などの物件費の増額に加え、物価高に伴う様々な分野におけるコストの増加にきめ細やかに対応します。

以上で、令和 8 年度当初予算案についての説明を終わります。

続いて、令和8年度の主要事業について、第5次裾野市総合計画後期基本計画の施策の大綱に沿ってご説明します。

1つ目は「ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち」子育て・教育・健康・文化に関する

る事業です。子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和7年度に完全無償化しましたこども医療費助成を継続します。子育て相談や交流の充実を図るために乳幼児育児教室事業を開催するほか、新たに外国人対応翻訳機の導入を行います。病児を抱える保護者を支援するために、病児・病後児保育を継続します。幼稚園・保育園の再編統合は、西地区の保育施設のこども園化に着手します。学校再編では、富岡中学校のリニューアル工事の基本設計及び東中学校転用工事に着手します。また、学校教育環境の充実に向けた投資や学校給食の物価高騰にも引き続き対応してまいります。市民の健康の維持・向上としては、健康マイレージ事業を実施します。その他の施設関係については、陸上競技場トラック改修を実施するほか新学校給食センターに PFI 手法を導入するためのアドバイザー業務を実施して行きます。

2つ目は「地域資源を活用した魅力あふれるまち」産業・観光に関する事業です。地域産業のイノベーションの推進として、市内を実証・検証の場として開放し、市内事業者の新規事業創出や、共創型実証フィールド創出事業を実施します。さらに、裾野駅周辺において、空き店舗や空き家などの既存ストックを活かす、リノベーション推進事業を実施します。

企業等の新規立地等を支援するため、企業立地促進事業を実施するほか、下和田地区の工業用地開発候補地においては、工業用地等開発可能性詳細調査を実施します。さらに、中小企業等の人材確保を促進するための奨学金返還支援

事業や就職相談会を実施します。森林資源の保全と地球温暖化対策の取組としてJクレジット創出等の事業に着手します。

3つ目は「安全・安心に住み続けられるまち」環境・防災・医療・地域福祉に関する事業です。環境に関して公共用水域の水質汚濁等を防止するため、浄化槽設置整備事業補助金については、これまで対象外だった宅内配管工事や浄化槽撤去工事も補助対象とします。また、剪定枝を木質ボイラー燃料に活用するためのリサイクル事業も実施します。

減災のための対策としては、感震ブレーカーの設置や防災ベッド整備の補助金を創設します。また、防災意識の向上及び的確な避難に繋げるために河川や内水の氾濫の対応を含めハザードマップの見直しを行うと共に、避難所の環境整備事業も実施します。

高齢者や障がい者支援の拡充による地域福祉の充実を図るため、高齢者の補聴器の購入費助成や視覚障がい者の外出支援事業を行っていきます。

4つ目は「将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち」都市・交通・社会基盤に関する事業です。下和田・須山地区の工業団地造成に向けて、都市計画区域区分の変更を進めるため調査・資料の作成を進め、関係機関との協議を実施します。また、賑わい創出を含めた裾野駅西区画整理事業、岩波駅周辺整備事業や都市計画道路平松深良線稲荷工区を継続するほか御師公園・せせらぎ児童公園等の

質の向上に向けた整備を行ってまいります。

5つ目は「時代のニーズに応えられるまち」市民自治・都市経営に関する事業です。時代のニーズや効率的かつ機能的な業務運営を行うと共に、質の高い市民サービスの向上を目指して市役所組織の見直しを行います。職員の専門性知識の向上の研修や、優れた人材確保のための職員採用などにも対応していきます。また首都圏から定住・移住を促進するため、移住・就労支援金を継続して行っていきます。ふるさと納税に関しては、新規返礼品の開拓や既存返礼品の魅力向上に努めブランド力の強化を行っていきます。

続いて、総合計画における大綱、「時代のニーズに応えられるまち」でもお話ししました市役所組織の見直しについてです。資料No.4、5をご覧ください。

1つ目はデジタル部の再編についてです。デジタル部は、情報システム基盤の整備や電子決裁の導入、フロントヤード改革及び基幹業務システムの標準化など、集中的なデジタル化を推進し一定の成果を上げてまいりましたが、今後は、デジタル化を専門部署が担う段階から、全庁の業務に組み込み、業務改革と一体で定着させる段階へ移行することから、業務改革課及び情報システム課を統合し、庁内管理を担う総務部へ再配置します。

2つ目は、企業誘致から市内企業の成長支援、さらにはスタートアップ創出までを一連の成長戦略として一体的に推進するための再編です。

これまで市長戦略部が担ってきた企業誘致・企業対応に加え、産業観光スポーツ

課が担ってきた市内事業者への支援、第二創業支援や「起こす方の」起業支援、そして地域イノベーション戦略のもとで展開してきたスタートアップ支援機能を市長戦略部へ集約いたします。

これにより産業振興部は、観光・商業・農林業など 地域経済全体の活性化に直結する分野を強化し、地域経済部として新たなスタートを切ってまいります。

以上で、令和8年度当初予算案についての説明を終わります。

次に、当初予算以外の主な議案についてご説明します。

第 34 号議案 令和 7 年度裾野市一般会計補正予算(第 8 回)につきましては、既定の予算総額に 1 億 1,900 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 247 億 8,950 万円とするものです。

補正予算の主な内容につきましてご説明します。

まず、歳入では、金利の上昇要因により利子割交付金を 950 万円、事業の前倒しにより市債を 4,350 万円増額するものです。

次に歳出では、ふるさと納税の堅調な推移により、商工費を増額します。他には市債の増額要因ともなりました土木費の増額のほか、人事院勧告に基づき、人件費を増額、予算執行実績の見込みによる減額を行うものとしします。

令和 8 年裾野市議会 2 月定例会に提出する議案についての説明は以上とな

ります。

特別会計・事業会計の補正予算、その他の議案につきましては、お配りした資料をご覧くださいと思います。